



相模湾小田原早川港出船

●このサイズのスルメイカが釣れると初夏到来を感じさせる

相模湾に初夏到来を告げる

撮影●粕川晃



●同じポイントでマルイカも交じる



●この日はいつも以上にマルイカが多かったらしい



●マルイカのダブルもあった



●シーズン短いのでお早め



▲ブラツノのほかステッ仕掛けも用意しておきたい。オモリは60号



▲マルイカタックルで釣る人が多い

ムギイカ



●ムギイカはスルメイカの幼体。麦の収穫期に釣れることからムギイカと呼ばれるようになったとされる



▲このサイズは食べてもおいしい

(詳細は60ページ参照)

相模湾の沖イカで初夏の風物詩といえはムギイカ。ここ数年はバツとしかなかったが、今年はまずまずの模様となっている。ムギイカ狙いで知られる出船港の一つ、小田原早川港ではマルイカ交じりながら水深50〜60メートル前後のポイントでトップ30〜40杯前後の釣果が上がっている。

以前はムギイカといえは手釣りの直結仕掛けで数を乗せるイメージがあったが、このところはマルイカタックルで小さなアタリを取って掛けにいかないと思うように数をのばせない状況となっている。シーズンは6月上旬ごろまで。テクニカルな釣趣を堪能するから早めに釣行しよう。



●相模湾小田原早川港・坂口丸 久保田 忍船長